

■ 日本橋川沿い5地区の市街地再開発事業や首都高速道路日本橋区間地下化事業などの工事期間中においても、日本橋エリアに人が訪れ、楽しく過ごしてもらえるよう、地域の賑わいに資する取組を検討していくことが必要です。

## 既存の主な取組

### 1 日本橋エリアにおける年間のイベント ※地元町会・商店街、観光協会、区等

**1月3日**  
**箱根駅伝(復路)**  
1月3日の復路10区で中央区内の鍛冶橋通り・中央通り・日本橋を通過する。駅伝の最終区間、フィニッシュ地点目までの走りが見られる。



**4月上旬日曜日**  
**春の名橋「日本橋」まつり**  
かつてのお江戸日本橋の賑わいを彷彿させるイベント。老舗名店や参加団体の名産品の販売などが行われる。



**5月上旬～中旬(西暦の奇数年が本祭)**  
**神田祭**  
江戸三大祭に数えられるお祭り。神幸祭では、江戸の祭礼行列が東京都心を練り歩く。総勢数千人が集う。中央区内は日本橋を巡幸。

**6月上旬～中旬(西暦の偶数年が本祭)**  
**山王祭**  
江戸城内に入御した御神輿を三代将軍家光公以来の歴代将軍が上覧拝礼したという「天下祭」として盛大を極めた。300mもの祭礼行列が続く「神幸祭」は必見。



**7月最終日曜日**  
**名橋「日本橋」橋洗い**  
年に一度、日本橋で行われる夏の風物詩。地元の子供や企業が参加し、ブラシやたわしで日本橋や欄干を磨いて汚れを落とすイベント。



**10月上旬～(約1ヶ月)**  
**中央区観光商業まつり**  
中央区の秋の魅力がたっぷり味わえるイベント。期間中、デパートや各商店街・アンテナショップなどで様々な関連行事が行われる。

**10月下旬**  
**日本橋・京橋まつり**  
●大江戸活粋パレード  
京橋から日本橋にかけて中央通り約2kmにわたり、全国各地の踊りなど、“活気”と“粋”を感じる華やかなパレードが行われる。  
●諸国往来市  
日本橋・京橋まつりのイベント。全国各地からお国自慢の名産品がずらりと並ぶ物産市。日本橋一丁目西河岸地蔵通りで露店が並びご当地グルメを楽しむことができる。  
●日八会秋のお江戸まつり  
●秋の名橋「日本橋」まつり



**10月下旬または11月上旬**  
**中央区まるとミュージアム**  
まち全体をミュージアムにみ立て、区内の文化イベントや文化施設を巡りながら、名所・旧跡、画廊、水辺の風景など中央区の豊かな文化的魅力を体験できる。

賑わいの継続

### 2 日本橋区間地下化PRルームの設置、仮囲いの活用 ※首都高速道路株式会社



PRルーム  
出典：首都高速道路日本橋区間地下化事業HP  
日本橋区間地下化PRルームのご案内



仮囲いの活用①(現地写真)



仮囲いの活用②(現地写真)

## 工事期間中の取組の方向性(案)

■ 地元、各事業者、関係行政機関、区が連携して下記取組を実施

#### 取組1: 既存の主な取組の継続

→ 各事業の工事の影響を考慮しながら、既存のイベントを継続して実施していく。

#### 取組2: 工事期間中しかできない取組の実施

→ 工事現場(仮囲いなど)も活用しながら、まちの変化を特別に体験できる取組を実施していく。

まちが変化していく瞬間  
||  
今しか体験できない「**限定期間**」

#### 取組3: 日本橋川水辺空間の将来イメージのPR

→ 連絡会で今後共有する各事業完了後における将来イメージを工事期間中からPRして、日本橋の魅力を幅広く発信し、多くの人々に訪れてもらう。

何度も訪れたくなる「**日本橋**」



# にぎわいづくりの事例

## 仮囲いの活用① アーティストによる展示



福岡県  
Fukuoka Wall Art Project 受賞作品

## 仮囲いの活用② 緑化



大阪府  
プランター設置による美装化  
(写真は平成25年～26年頃)

## 仮囲いの活用③ 夜間ライトアップ



福岡県博多区  
イルミネーションの設置

ライトアップと特殊フィルムの設置

## 工事現場を活用したイベント



品川区  
公園工事現場見学会

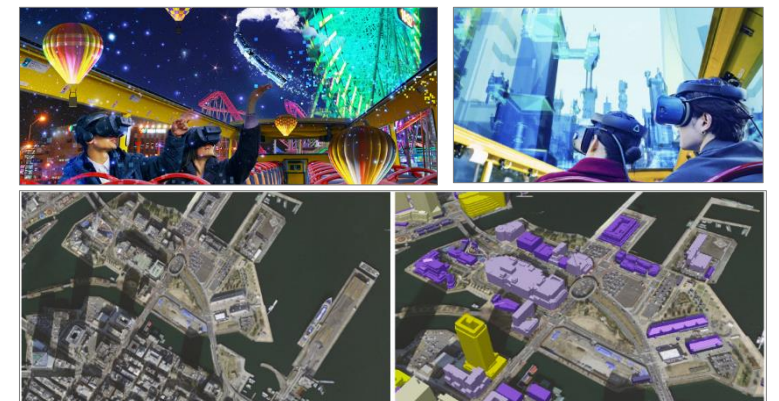
## まちの回遊性向上のイベント



参考  
町田市回遊イベント  
『まちだ謎解きゲーム』

## 現地における地域の魅力PR

例) 工事後の姿を3Dモデル上で表現し、みらいの街並みを体験



神奈川県横浜市  
XRを活用した観光バスツアー(国交省HPより)